

# 51 里公小学校 地域とともにある学校づくり

**小中一貫教育の実践（教育活動の方向性）**

中学校区の目指す子ども像	自分で考え、仲間と共に、よりよく判断して行動する力 ふるさと三和を愛する心
我が校の目指す子ども像	学びとる子 思いやる子 きたえる子



小中一貫教育の具体的な取組		
	我が校の取組	中学校区の取組
実現に向けた重点的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校でクラス会議に取り組み、深い学びの土壌となる「受容的な雰囲気」「かかわりあう心地よさ」を経験する機会を設定。</li> <li>・「かかわり」を重視し、「大人に学ぶ、仲間に学ぶ、自然に学ぶ、文化に学ぶ、本物に学ぶ」活動の推進。</li> <li>・メディアと上手に付き合うことを目指した取組の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区の重点課題の明確化と授業改善。区内小中学校の授業公開や校内研修への参加。</li> <li>・道徳及び人権教育、同和教育の授業公開、人間関係づくり研修。</li> <li>・生活習慣の改善とともに家庭学習習慣の定着に向けた「ライフ・コントロール週間」の設定。</li> </ul>
	成果○と課題■	成果○と課題■
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全校でクラス会議に取り組んだ結果、互いを尊重して話し合ったりかかわり合ったりする雰囲気ができている。</li> <li>■クラス会議で培った受容的な雰囲気やかかわりを授業場面の中で生かしていく。</li> <li>○保護者からメディア以外の過ごし方について声が上がリ、学校保健委員会で親子レクを企画、実施した。メディアの接し方について課題意識が共有されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学校区で育てたい子どもの姿やそれに基づいた課題を共通理解し、課題解決に向けた取組を進めた。1、2年のクラス会議に上越教育大学から支援してもらい、大変有意義だった。</li> <li>■各校の職員が授業参観できるような情報提供を行った。来年度は早めの周知を呼びかけ、より多くの職員が互いに参観できるようにする。</li> </ul>

**〈夢・志チャレンジスクール事業の取組（地域とともにある学校づくり実践）〉**

取組の概要	主な活動内容	
<p>本物とかかわる体験活動を通して、自ら気付き判断する力、友達と協働して学ぶ力を育成することを重視している。</p> <p>今年度は、地域の方から講師になっていたき、三和区の特色ある場所を尋ねたり偉人について教えてもらったりした。また、味噌や米、ネギなど校区の特産物を一緒に育て調理したり販売したりする活動を行った。</p>	総合	「三和 KING～三和区を探検しよう」（3年）
	総合	「三和区と言えば？～用水の水はどこから？下鳥富次郎ってどんな人？～」（4年）
	総合	「三和のおにぎりはう米んだなあ～！」（5年）
<p style="text-align: center;">学校運営協議会の評価</p> <p>児童には、地域の歴史や財(材)、農産品など、ふるさと三和を知ってよさを感じてもらいたい。学校は、総合的な学習の時間をはじめ、地域に出て学習を深めていると感じる。今後もぜひ続けてほしい。</p>	<p>夢・志チャレンジスクール事業の取組は、目指す子ども像の実現に有効であった</p>	
	○	当てはまる
		どちらかという当てはまる
		どちらかという当てはまらない
		当てはまらない

# スクールのマネジメント実践報告書

## 学校運営協議会の活動内容

学校運営協議会の委員の構成									
教職員	3人	保護者	3人	住 民	5人	その他	1人	合計	12人
学校運営協議会の回数 ※( )は、回数内における紙面協議回数	学校単独	1学期	1回 (0)	2学期	1回 (0)	3学期	1回 (0)	合計3回 (0)	
	中学校区合同 ※中学校区で同数にする	1学期	0回 (0)	2学期	0回 (0)	3学期	0回 (0)	合計0回 (0)	

活動の内容	成果○と課題■
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の課題や現状について、学校運営協議会で熟議し、地域とともにある学校として今後の方針を決定した。</li> <li>第1回目の学校運営協議会に全担任が参加し、委員に生活科や総合的な学習の時間の構想を説明したり、情報やアイデアをもらったりする場を設けた。</li> <li>統合や閉校に向けた学校の動きについて知らせるとともに、それぞれの立場から広い視野で意見交換を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎回の授業参観を通して、児童の実態や学校の現状、課題について理解いただき、その後の議論が深まった。</li> <li>○今年度は、学校運営協議会委員の方から講師になっていただいたり人材を紹介してもらったりした。職員が困ると相談に乗ってもらうことが多々あり、地域と連携して教育活動を進められたという実感があつた。</li> <li>■来年度も、地域と学校をつなぐ場となるよう進めていく。</li> </ul>

総 括
<p>昨年度から、学校運営協議会の席で担任と委員が地域の財や活動のアイデアを相談する機会を設けている。今年度は、それを受けて担任が積極的に地域にかかわる題材を取り入れ、教育活動を展開した。学校運営協議会は、人材を紹介したり一緒に活動に加わったりと、学校と地域をつなぐ大きな役割を果たした。来年度も、地域とともにある学校となるよう、大いに議論しながら地域と連携して活動を推進したい。</p>

### 〈活動写真〉



○3年生は、三和 KING のテーマのもと、さまざまなところを探検に出かけた。毎回、地域の先生から話を聞いたりインタビューをしたりして「ふるさと三和」への理解を深めた。



○4年生は、総合的な学習の時間に上江用水を造った下鳥富次郎を取り上げ、地域の方から富次郎のことを詳しく教えてもらった。学習発表会では、学んだことを劇にして発表した。



○5年生は、校区の「農業の先生」に教わりながら、米作りに取り組んだ。販売時に自分たちの米のよさをお客さんにアピールするため、JAの協力を得ながら、米の食べ比べを行った。